

プラエド通信

<発行者>

認定NPO法人 プラス・エデュケート
理事長 森 顕子

理事長挨拶

2024年の始まりは能登半島地震が起き、新年への希望や期待で満ちていた風景が一変しました。悲しみを抱えながらも前を向いて生きていこうとされている方々に、やっと芽吹き始めた春の花々が力を与えてくれることを期待するとともに、1日も早く平穏な暮らしが戻ることを願います。

また、私自身も2月は体調を崩してしまい復帰に長い時間がかかり、3月には父がこの世を去りました。健康の大切さと、かけがえのない人をなくす悲しみを実感し、改めて周りの方々に感謝するとともに、毎日をしっかり生きることの重要性を感じた次第です。

さて、教師は、生命力あふれる子どもに接する仕事であり、彼らの成長に寄り添う存在ですが、春は卒業・進学と子どもたちの晴れ晴れとした姿に触れることが多く、1年間の苦労を一気に忘れてしまうほどの喜びに包まれる季節です。昨年度もたくさんの方々の笑顔であふれました。スタッフ・ボランティアのみなさん、そして行政・寄付者の方々など、昨年度もたくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。

最近の報道によると、インバウンド需要の増加だけでなく、外国人労働者も増えて200万人(過去最高)を突破したそうです。「技能実習制度」が見直され「育成就労制度」へと変更になるなど、外国人労働者の環境も変わっていき、「定住」する外国人数や国籍も今後ますます変化していくことでしょう。実際、初期指導教室でも昨年度はそれまでと比べ子どもの数が増えました。そこで、当法人でも外国ルーツの子どもがさらに増えることを見据え、今年度以降は、県内外に対して、研修などを通じた指導法の開示やテキストの提供、人材育成などに力を入れていきたいと考えています。その結果、1人でも多くの子どもの質の高い日本語教育が届けられるよう、努力を重ねていきます。どうぞ今後とも温かいご支援を賜りますよう、お願いいたします。

理事長 森 顕子



豊明市日本語初期指導教室 (ひまわり教室)

クラスへの第一歩

豊明では、卒室前に自分のクラスで自分の国のこと、自分のことを発表します。

たくさん練習するのですが、本番はみんな緊張してしまいます。髪を切って張り切って臨んだ子、緊張で発表前に泣いてしまった子、クラスに笑いを起こした子、恥ずかしいと言いながらも友達からの質問に頑張って答えた子など、それぞれが頑張りました。クラスのみんなが温かい雰囲気の中で聞いてくれたことで、楽しい記憶として残ったようです。自信にもつながりました。これからも、大変なことが待っていると思いますが、日本語教室で頑張ったこと、みんなの前で発表した経験を糧に、日本ででの生活を楽しんでほしいと思います。

(文：池田)



碧南市日本語初期指導教室 (いっぼ教室)

はじめてのタクシー送迎

3学期、親の送迎が難しく「いっぼ教室」へ通えない子のために、タクシーでの支援をしました。行きは親が送って、帰りはタクシーで学校まで送る形で運用しました。「いっぼ教室」は市内2か所で開催し、学期ごとに場所を変えています。どうしても転入のタイミングによって通えない子がいます。親も我が子の日本語力を心配して、「いっぼ教室」への通級を希望しています。今回、小学1年と2年の子が利用しました。はじめは、緊張していた2人ですが、運転手さんがやさしかったので、だんだんと慣れてきて、笑顔で挨拶できるようになりました。保護者と学校からは、また利用したいという声がありました。これを機に初期指導が必要な子どもが多く通えることを願います。(文：小林)



半田市日本語初期指導教室

新人教師と子どもたちのつながり



日本語が全く分からない子どもが多いクラスでした。授業づくりに悩み、一人ひとりと丁寧に対話を重ねた分、卒室時に込み上げてくる感情は大きいものとなりました。教員時代の担任クラスの卒業式より、今回流した涙の方が10倍多かったように思えます。

最終日の授業後、ベトナムの女の子が駆け寄ってきて、泣きながらハグを求めてきました。その子は中学生という年頃でもあるので、普段は表に感情を表す子ではありません。言葉のないハグでしたが、初期指導教室という場がどれだけ彼女にとって宝物のような存在であったか…言葉では表せないものを感じました。

(文：木下)



歩きだせ！次なるステージへ向かって！

放課後学習支援教室

卒業おめでとう。

私はみんなとプラス・エデュケートで出会えたことを今では「奇跡」だと思っています。

クラスを任された頃、私はみんなをよく叱っていましたね。頭をかかえることばかりでした。宿題はしてこない。教科書は持って来ない。ワークは真っ白。授業中はおしゃべりばかり。遅れる時も休む時も連絡してこない。そんなことが続いていたから。プラエドがある日なのに、宿題や教科書を忘れて家に取りに帰った子もいて、ため息をついたこともありました(笑)。でも、補習をやったり懇談会をやったりして、時間をかけてみんなと話しあい、心を通わせながら高校のことや将来のことを一緒に考えたことで、ともに頑張ることができたと思っています。

3年生になり、受験も終わってホッと一息ついたある日、みんなは教室にやってきてすぐに静かにプリントを始めましたね。受験が終わった開放感でおしゃべりをして今日だけは許そうと思っていた私は、本当にびっくりしたし、みんなの大きな成長を感じることができました。

卒業するみんな。私は頭を抱えていた両手を天に突き上げて「バンザイ！」と叫びながら送り出したいと思います。おめでとう！そして感動をありがとう。みんなに会えてよかった。これからもずっとずっとそう思っています。みんなには素晴らしい未来が待っていることでしょう。笑顔あふれる充実した毎日になることを心から願っています。

(横田) 純子先生 (中3担当) より

放課後学習支援教室10名
オンライン日本語会話教室2名
奨学プログラム(※)オンライン日本語教室5名

2024年度は17名が
新しいステージへと歩き出します。

刈谷東高校 6名
豊明高校 1名
名古屋工業高校 1名
豊田工科高校 1名
城北つばさ高校 3名
豊田西高校 1名
碧南高校 1名
YWCA日本語学校 1名
あいち造形デザイン専門学校 1名
就職 1名

※奨学プログラムとは、㈱パロマ寄付金による日本語支援が不足している子どものためオンライン日本語教室の事です。

オンライン日本語会話教室・奨学プログラム



オンライン日本語会話教室、奨学プログラム(※)オンライン日本語教室の子どもたち26名がすべてのカリキュラムを終え、無事に卒業しました。

日本語がほとんど話せなかった子どもが自分の言いたいことを話せるようになったり、教材に関係する内容が理解できるようになりました。特に奨学プログラムの子どもたちは、過年齢で来日し、さらに学校での支援がない中での、たった5か月の日本語指導でしたが、高校進学ができるまでに成長してくれました。日本語を話すことに自信がついて、笑うことが多くなりました。

卒業を伝えた後も、まだ勉強したいと言ってくる子どもが何人かいるくらい日本語の勉強が楽しかったようで、担当した教師の喜びもひとしおです。

安全装置実演では、手を近づけると火が小さくなったりするのを興味津々で見っていました。



調理実演のメニューは、鶏肉グリル焼き、魚の切り身、焼きそばでした。このあと、持参したお弁当もペロリでした。(笑)



防災についてもお話していただきました。防災ガイドブックもお土産でいただきました。

見学用の帽子もお土産でいただきました。よく似合っていました。



(株)パロマ清須工場見学



株式会社パロマ様のご厚意により、奨学プログラム(※)オンライン日本語教室の子どもたちと放課後学習支援教室の子どもたち、約30名で3月25日に株式会社パロマ清州工場で、工場見学をさせていただきました。子どもたちにとっては、工場内の見学だけでなく、ガスコンロの安全装置実演、調理実演など普段できない貴重な経験となりました。

工場見学では、普段見ることのできないモノや聞いたことのない話に興味津々で、驚くほど集中して説明を聞いていました。また、楽しかったと同時に、寄付していただいた企業や、そこで働くみなさまと触れ合うことで、自分たちの学習が支えられているということを再認識することができたようです。

今回のことを機に、初めて1人で切符を買う、初めて電車に乗るといった子どももあり、引率のスタッフは全員きちんと集合場所に來られるかドキドキして待ちました。乗るはずの号車を間違えたり、乗り物酔いをしてバスには乗車せず歩いたり、小さなハプニングはありましたが、子どもたちには、とても刺激になったと思いますし、外出する自信がついたのではないかと思います。

オンラインで学習していた子どもたちは、初めてリアルにお会いしましたが、すぐに仲良くなっていました。話も盛り上がり、連絡先の交換もしていました。

快く迎えてくださった、株式会社パロマの方々にはこの場を借りてお礼申し上げます。

視察を受け入れました

1月は福島県郡山市からNPO法人、2月は沖縄県北谷町議会議員様方、岐阜県教育委員会、宮城県仙台市教育局と4件の視察を受け入れました。

豊明市教育委員会にご協力いただき、NPO法人与行政の委託業務に関する内容、教育委員会や学校との連携方法、日本語能力の効果検証についてや、オンラインによる日本語初期指導についてなど、たくさんのお話をさせていただきました。

また、各地の日本語教育の状況や外国ルーツの子どもたちの現状を知ることができ、とても良い時間になりました。

今後ご希望があれば、可能な限り応じていきます。



岐阜県教育委員会より



仙台市教育局より



沖縄県北谷町議会議員の皆さま

講演報告と今後の予定

【報告】

- 1/13 仙台市（仙台観光国際協会）
「外国につながる子どもサポートせんだい研修会」
- 1/14 大府市（愛知県国際交流協会）
「外国人児童生徒のための日本語教室活動等スキルアップ研修」
- 1/20 半田市（半田市教育委員会）
「日本語指導研修会」
- 2/10 名古屋市南区（地域大交流会）
「地域共生社会の実現に向けて：実践報告」

【予定】

- 4/ 7 名古屋市中区（愛知未来創造フォーラム）
「子どもに特化した日本語指導者の必要性」
- 4/10 刈谷市（刈谷市教育委員会）
「日本語適応指導のポイント」
- 5/18 福島県いわき市（いわき市国際交流協会）
～19 「外国ルーツをもつ児童生徒への日本語支援」
- 5/15 埼玉県（埼玉県国際交流協会）
22・29 「テーマ未定」
- 6/11 豊明市（豊明市教育委員会）
「テーマ未定」
- 6/29 一宮市（一宮市国際交流協会）
「令和6年度外国人児童生徒向け進路説明会」
- 8/ 5 あま市（あま市教育委員会）
「日本語を日本語で教える
～外国人にルーツをもつ児童生徒の日本語指導～」



ボランティア大募集



6月15日(土)学習支援ボランティア説明会を開催

対面、オンラインのハイブリット開催をします。子どもが好きな方、教えることが好きな方、社会貢献活動の興味がある方、就職活動の一環でボランティアを検討している方、ぜひご参加ください。一般、学生問いません。

詳細はFacebookでお知らせします。要CHECKです。ボランティアに興味があるお知り合い等にも、どうぞお知らせください。よろしく願いいたします。

インターンシップ受入

豊明市、豊明市国際交流協会、プラス・エデュケートの3機関合同でインターンシップを開催しました。桜花学園大学から2名が参加してくれました。豊明市の現状と日本語教師の業務を理解し、子どもたちにも明るく楽しく接してくれました。日本語教育に興味を持ってもらえたら嬉しいです。

日本語指導者育成事業再始動決定！

2024年6月、大好評だった日本語指導者育成事業をアップデートして再始動します。現在、準備中です！キックオフイベントも開催予定ですので、ぜひご参加ください。

詳細はHP、SNSでお知らせします。ご興味ある方にも拡散してください。

COMING SOON

ご支援者様いつもありがとうございます。

坂本ドネイション・ファウンデーション(株)・(株)デンソー・(株)パロマ・(財)ホシザキ新星財団・(株)ホームカラクト・Home&nico安井建設(株)・(株)豊明交通・朝日工業(有)・社会保険労務士法人絆・(一財)阿部亮財団・名古屋国際観光バス(株)・(株)ピー・プレイス・BOLSTER(株)・学校法人藤田学園SDGs推進室・個人支援者188名(順不同)

【ボランティア協力校】愛知教育大学・愛知県立大学・愛知淑徳大学・岐阜聖徳大学・至学館大学・南山大学・藤田医科大学(順不同)

認定NPO法人 プラス・エデュケート

〒470-1131

愛知県豊明市二村台3-1-1豊明団地55棟107号

TEL / FAX : 0562-92-3822

E-mail : plus_educate@yahoo.co.jp

HP : https://www.plus-educate.org/

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Plus Educate プラス・エデュケート プライド



プラエド通信編集 : 中西 智子